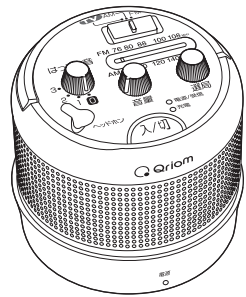




2.4GHz ワイヤレスお手元スピーカー YTR-D1000

取扱説明書



ご使用になる前に

この説明書(保証書付)を最後までお読みのうえ正しくお使いください。

この度は、本製品をお買上げ頂き誠にありがとうございました。この取扱説明書(保証書付)は、大切に保管してください。お読みになった後は、わからないことや不具合が生じた時にお役にたきます。

日本国内専用
FOR USE IN JAPAN ONLY

本製品は家庭用として作られており、業務用には使用できません。
室内での使用に限ります。

商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター

0570-00-9106

受付時間

月～金 午前10時～午後5時30分

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)
※ナビダイヤルは一部の電話ではご利用になれない場合がございます。

メールでのお問い合わせ

E-mail: support@qriom.com
ホームページ: http://www.qriom.com



保証書付

●安全上のご注意

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐため、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。

■【本文中に使われている絵表示の意味】

	禁止		風扇、シャワー室での使用禁止		分解禁止		ぬれ手禁止		水ぬれ禁止
	指示を守る		ACアダプターを抜く						

警告

発煙や変なにおいがするときは、使用しない
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ACアダプターの電源コードが傷んだり、発熱したときは、ACアダプターをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

ACアダプターの電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む
交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。差し込みが悪いと、発熱し火災の原因となります。

ぬれた手でACアダプターやケーブル類を抜き差ししない
感電や故障の原因となります。

分解・修理・改造はしない
感電・火災の原因となります。内部の点検・調整および修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

雷が鳴り出したら、ACアダプターおよび電源コードに触れない
感電の原因となります。

落としたり、強い衝撃を与えてキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切る
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

ACアダプターの電源コードを取り扱うときは、次のことを守る
・傷つけない
・延長するなど加工しない
・加熱しない・引っ張らない
・重い物を載せない・はさんだりしない
・無理に曲げない・ねじらない
・束ねたりしない
守らないと、火災・感電の原因となります。

機器の上に物を置いたり、異物を入れたりしない
金属類(クリップや針、コインなど)や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物等が入ったら使用しない
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雨天時の屋外や浴室など、水が直接かかったり、湿気の多い場所に置いたり使用したりしない
火災・感電の原因となります。

ACアダプターの電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、ACアダプターを抜きゴミやほこりをとる
電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

送信機の充電端子を金属でショートさせないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

送信機の充電端子に水滴がついたままコンセントに接続しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

次のような場所には置かない
・火のそば、暖房機器のそばなどの高温の場所
・直射日光の当たる場所
・振動の強い場所
・腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)の発生する場所
・極端な高温、低温、温度変化の激しい場所
・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
・炎天下の車内・ほこり、油煙の多い(調理場など)場所

注意

機器の上に乗らない
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

長時間音が歪んだ状態で使わない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

長時間で使用にならないときは、ACアダプターをコンセントから抜く
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

持ち運ぶときは、ACアダプターをコンセントと送信機から抜く
コードが傷つき、けがや火災・感電の原因となります。

音量に注意
・始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。
・電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

ACアダプターをコンセントから引き抜くときは、ACアダプターを持って引き抜く
コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

ACアダプターは容易に手が届くコンセントに接続する
電源スイッチを切っても電源から完全には遮断されていません。万一の事故防止のため、すぐにACアダプターを抜くことができるコンセントに接続してください。

結露が生じた場合は、結露がとれてから使用する
寒いところから急に暖かい場所へ移動すると、本機に結露が生じる場合があります。この状態で使用すると、正しく動作しなかったり、感電・故障の原因になる場合があります。このようなときはACアダプターを抜き、1時間ほどその状態で放置し結露がとれてからご使用ください。

ブラウン管を使用したモニターや磁気を利用した記録媒体には近づけない
モニターに色むらが発生したり、記録した内容が破損する原因となることがあります。

梱包材や梱包袋は、安全な場所に保管する
製品の梱包材や梱包袋は、お子様の手の届かない場所に保管してください。お子様の窒息などの事故の原因となることがあります。

免責事項について
●地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

●本製品について

無線通信について

本製品は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則の認証を取得したモジュールを内蔵しています。以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。
●本機を分解したり改造すること。
●モジュールに貼ってある認証ラベルをはがすこと。

2.4 X X 8

●無線製品表示の説明
使用周波数: 2.4GHz帯
変調方式: GFSK 変調方式
与干渉距離: 80m

注意

●本機の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどや、医療用、産業用などや、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局、Bluetoothなどが運用されています。そのため、本機と他の無線局とで電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用を停止するか、使用場所を移動してください。

内蔵電池について

スピーカーは内蔵電池として、ニッケル水素充電電池を使用しています。

注意

●希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった製品は廃棄せず、リサイクル協力店の回収箱に入れていただくか、各自自治体の廃棄方法に従って処理してください。
●長期間充電しないと、使用時間が短くなったり、充電できなくなることがあります。半年に一度くらい充電することをお勧めします。



Ni-MH

防水機能について

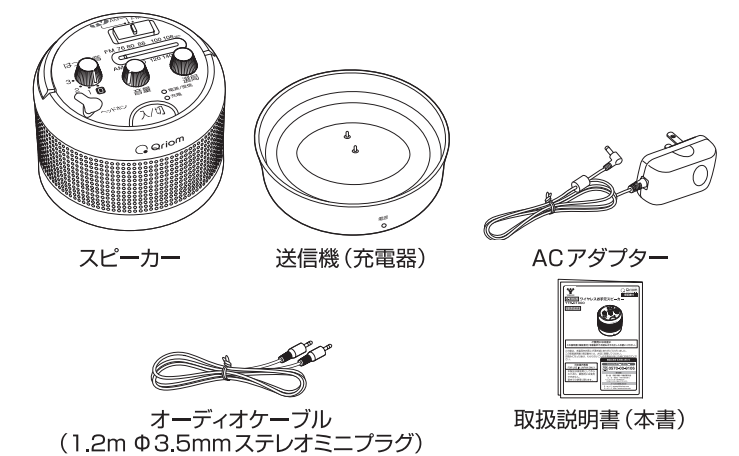
本製品のスピーカーのみ、水の飛まつなどから内部を保護する生活防水機能(IPX4相当)があります。
(※IPX4:あらゆる方向からの飛まつによる有害な影響がない)

注意

●ヘッドホンまたはイヤホンを接続するために、スピーカーの防水キャップを外しているときは、生活防水機能(IPX4相当)が保てません。水濡れにご注意ください。

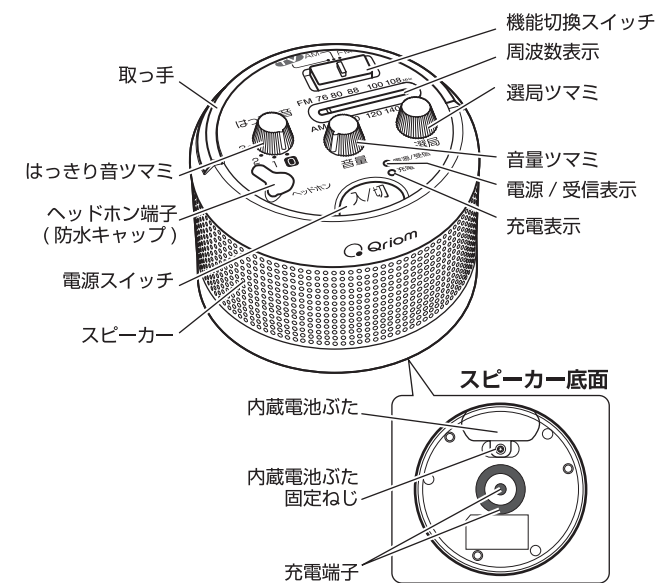
●梱包品

ご使用前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、お買い求めになられた販売店または当社のサポートセンターまでご連絡ください。

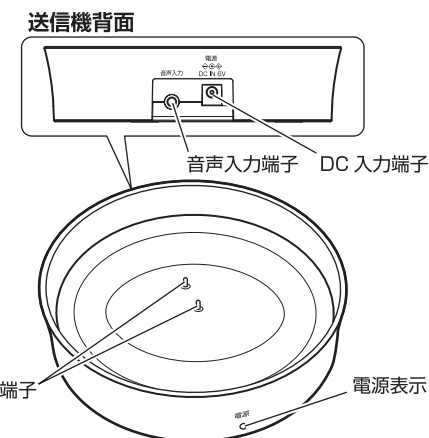


●各部の名前

スピーカー



送信機

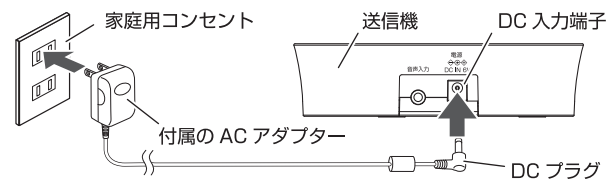


● ご使用の前に

送信機を準備する

- ※必ず付属のACアダプターを接続してください。他のACアダプターを使用すると火災・感電の原因となります。
- ※濡れた手でACアダプターの抜き差しはしないでください。感電のおそれがあります。

1. 送信機のDC入力端子に付属のACアダプターのDCプラグを接続します。
2. ACアダプターを家庭用コンセント(交流100V 50/60Hz)に接続します。
 - 送信機の電源表示が点滅します。

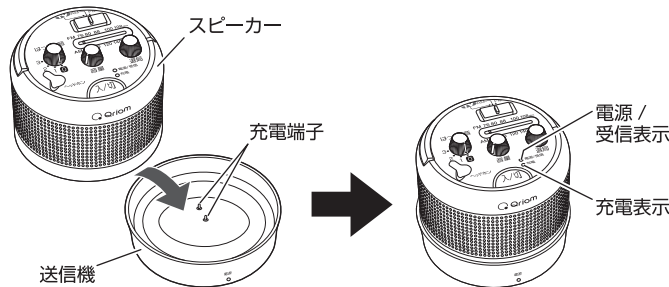


充電する

スピーカーは内蔵電池として、ニッケル水素充電電池を使用しています。初めてお使いになる前や長期間お使用になっていない場合は、必ずスピーカーを充電してからお使いください。

- ※スピーカーの電源は、充電中に入りません。
- ※充電中、充電完了直後は、送信機およびスピーカーが暖かくなる場合がありますが、異常ではありません。
- ※スピーカーを送信機に乗せたときに充電表示が点灯しない場合は、もう一度スピーカーを乗せ直してください。
- ※十分に充電しても使用時間が短くなる場合、内蔵電池の寿命が考えられます。当社のサポートセンターへお問い合わせください。

1. 準備の終わっている送信機の上にスピーカーを乗せます。
 - スピーカーは、どの向きで送信機に乗せても充電できます。
 - スピーカーの充電表示が赤色に点灯します。
 - スピーカーの充電が終わると、充電表示は消灯します。
 - 電池を使い切った状態では、充電が終わるまで約4時間です。



- ※電源/受信表示がオレンジ色に点灯したら、内蔵電池の残量が少なくなっています。スピーカーの電源を切って、早めに充電してください。

● 充電完了後の連続使用時間の目安

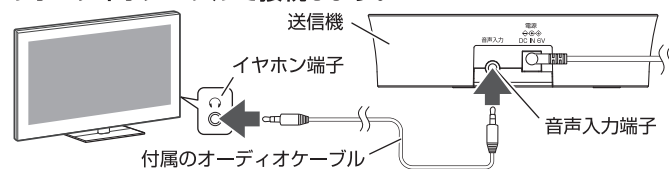
動作状態	連続使用時間
ラジオ受信	約12時間(スピーカー使用時) 約55時間(イヤホン使用時)
テレビ音声再生	約12時間(スピーカー使用時) 約30時間(イヤホン使用時)

- 連続使用時間はJETA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。
- 連続使用時間はあくまでも目安です。音量や電池の状態によって、連続使用時間は異なります。

テレビと接続する

送信機をテレビに接続し、送信機とスピーカーの間で無線通信を行うことで、手元に置いたスピーカーでテレビの音声を聴くことができます。

1. 接続するテレビのイヤホン端子と送信機の音声入力端子を付属のオーディオケーブルで接続します。



- テレビの機種によっては、オーディオケーブルを接続しても、テレビのスピーカーからも音声を出力できる設定があります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

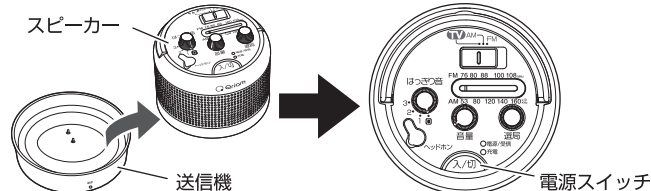
- ※イヤホン端子とAUX出力端子の両方を持つ機器でも、必ずイヤホン端子と接続してください。AUX出力端子と接続すると好みの音量に調整できないことがあります。

● 使用方法

電源の入り/切り

- ※送信機に乗せた状態では、スピーカーの電源は入りません。

1. 送信機からスピーカーを外します。
2. 電源を入れるには、スピーカーの電源スイッチを押します。
3. 電源を切るには、スピーカーの電源スイッチを押します。



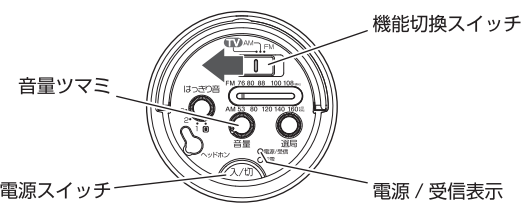
- 送信機にスピーカーを戻す時は、必ずスピーカーの電源スイッチを押して電源を切ってください。

テレビの音声を聴く

テレビの音声を聴く前には、「テレビと接続する」をご覧ください。

1. 機能切換スイッチをテレビに合わせて。
2. スピーカーの音量ツマミを最小にし、スピーカーの電源スイッチを押し、電源を入れます。

- ※電源を入れたときに大きな音が出るのを防ぐため、音量は最小にしてください。

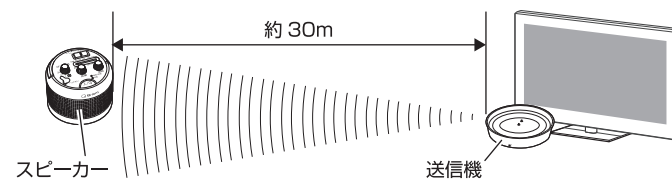


3. 接続しているテレビの電源を入れ、適切な音量にします。
4. スピーカーの音量ツマミを回し、適切な音量にします。
 - 本機の音量を最大にしても音が小さい場合は、接続しているテレビの音量を上げてください。

● 通信距離について

本製品は、送信機とスピーカーの見通しの距離で約30mの範囲でご使用いただけます。

- ※送信機とスピーカーの間に壁や遮蔽物などある場合、通信距離は短くなります。また、壁や遮蔽物などの種類や構造により、通信距離は違ってきます。
- ※他の機器や無線機からの干渉により、通信距離が短くなる場合があります。

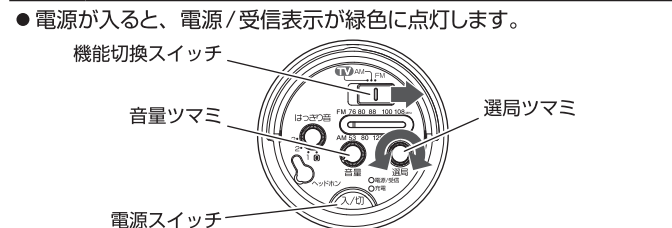


ラジオを聴く

本機はワイドFM (FM 補完放送) に対応しています。ワイドFM (FM 補完放送) とは AM (中波) 放送局のエリアにおいて難聴対策や災害対策を目的としてFM放送の90.1 ~ 94.9MHz周波数を用いてAM放送をすることです。

1. 機能切換スイッチをAMまたはFMに合わせて。
2. スピーカーの音量ツマミを最小にし、スピーカーの電源スイッチを押し、電源を入れます。

- ※電源を入れたときに大きな音が出るのを防ぐため、音量は最小にしてください。



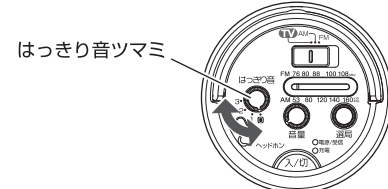
- 電源が入ると、電源/受信表示が緑色に点灯します。

3. スピーカーの音量ツマミを回し、適切な音量にします。
 - 聴こえるノイズを目安にして音量を調整してください。
4. 選局ツマミを回し、お聴きになりたい局に合わせます。

はっきりした音声で聴く(テレビ音声対応)

テレビの台詞などの音声をよりはっきりと聴くことができます。

1. テレビが聴ける状態にし、適切な音量にします。
 - 聴こえる音声を目安にして音量を調整してください。
2. はっきり音ツマミを回し、お聴きになりたい状態に合わせます。



- はっきり音ツマミの数字が大きいほど、明瞭度は高くなります。
- 音量により、音声が歪んで聴こえることがあります。音声が歪んで聴こえる場合は、音量を調整してください。
- ラジオ音声には対応していません。

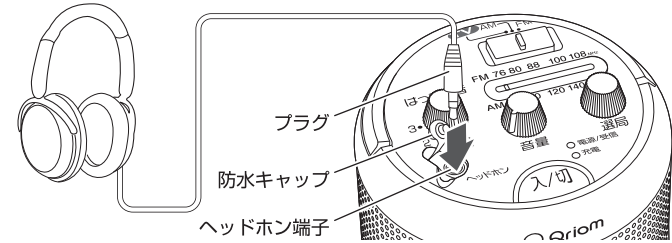
ヘッドホンを使う

お持ちのΦ3.5mmのステレオミニプラグのヘッドホンまたはイヤホンをお使いいただけます。イヤホンおよびヘッドホンは付属していません。市販のヘッドホンまたはイヤホンをお買い求めください。

⚠ 注意

- ヘッドホンまたはイヤホンに接続するために、防水キャップを外しているときは、生活防水機能(IPX4相当)が保てません。水濡れにご注意ください。
- 音量は徐々に上げてください。突然大きな音を出して耳を傷めるおそれがあります。

1. スピーカーの音量ツマミを最小にします。
2. ヘッドホン端子の防水キャップを外します。
3. ヘッドホンまたはイヤホンのプラグをヘッドホン端子に接続します。



4. スピーカーの電源スイッチを押し電源を入れ、音量ツマミを回し適切な音量にします。

● お手入れ

- ※お手入れの前には、必ず電源を切って、ACアダプターをコンセントと送信機から外してください。

本体のお手入れ

- 本体表面は乾いた柔らかい布で、から拭きします。
- 本体表面の汚れがひどい場合のみ、水で濡らした柔らかい布をよく絞ってから丁寧に拭いてください。
 - ※メラミンスポンジなど固いスポンジやたわしは使わないでください。傷の原因になります。
 - ※みがき粉やたわし、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。
- スピーカーおよび送信機の充電端子は、常に清潔にしておいてください。汚れた場合は、柔らかい布で丁寧に拭いてください。

● 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に一度以下の項目を確認してください。それでもなお異常があるときは使用を中止して、サポートセンターまでご連絡ください。

症状	ご確認ください
送信機の電源が入らない。	●ACアダプターは、正しくコンセントに接続されていますか。また、ACアダプターのDCプラグは送信機に正しく接続されていますか。
スピーカーの電源が入らない。	●内蔵電池を使い切っていませんか。スピーカーの内蔵電池を充電してからお使いください。 ●送信機にスピーカーを乗せていませんか。送信機に乗せたままでは、スピーカーの電源は入りません。
スピーカーが充電できない。	●送信機とACアダプターは、正しく接続されていますか。 ●スピーカーは送信機の上に正しく乗せられていますか。 ●スピーカーおよび送信機の充電端子は汚れていませんか。充電端子は常に清潔にしておいてください。

症状	ご確認ください
音声が聞こえない。	●ヘッドホンまたはイヤホンに接続していませんか。ヘッドホンまたはイヤホンを接続しているとスピーカーから音声は出ません。
テレビの音声が聞こえない。	●接続しているテレビの音量が小さい、または消音になっていませんか。テレビの音量を調整してください。 ●送信機の電源が切れていませんか。
テレビの音声が途切れる。	●周囲に2.4GHz帯を使用する機器や無線機はありませんか。それらの機器から離れておいてください。 ●スピーカーと送信機の距離が離れ過ぎていませんか。

● 仕様

品名	ワイヤレスお手元スピーカー
型名	YTR-D1000
スピーカー	
スピーカーユニット	Φ55mm
実用最大出力	1.5W
受信周波数	ワイドFM対応FM 76 ~ 108 MHz / AM 522 ~ 1629 kHz
出力端子	Φ3.5mm ステレオミニジャック
電源	内蔵ニッケル水素電池 2000mAh
外形寸法	約118(直径)×87(高さ)mm(突起部含まず)
質量	約530g
送信機(充電器)	
入力端子	Φ3.5mm ステレオミニジャック
電源	6V 1A(付属ACアダプター:100-240V ~ 50/60Hz)
外形寸法	約124(直径)×31(高さ)mm
質量	約100g(ACアダプター含まず)
共通	
変調方式	GFSK
送受信周波数帯	2.4GHz
通信距離	約30m
付属品	ACアダプター、オーディオケーブル(1.2m Φ3.5mm ステレオミニプラグ)、取扱説明書(保証書付き:本書)

※本機の外觀および仕様は改善のため予告なく変更することがあります。この商品は、日本国内用に設計、販売しております。海外での修理や部品販売などのアフターサービスは行っていません。

● 保証とアフターサービス

保証について

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証書欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日から1年間です。詳細は保証書をご覧ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その商品の性能を維持するために必要な部品です。
- 消耗部品のご注文などについては販売店へご依頼ください。
- ご不明な点がありましたらキュリオムサポートセンターへご相談ください。

■ 保証期間中は

- お買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理致します。保証期間中であっても有料となる場合がございます。

■ 保証期間が過ぎているときは

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店へご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載のお買い上げの販売店かキュリオムサポートセンターにお問い合わせください。※ナビダイヤルは一部の電話でご利用になれない場合がございます。

●キュリオムサポートセンター

0570-00-9106

受付時間
月~金 午前10時~午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせ
E-mail: support@qriom.com
ホームページ: http://www.qriom.com

■ 個人情報の取扱いについて

- 株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報をご相談内容、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
- 長年ご使用の機器の点検を!

要請点検	このような症状はありませんか?!
<ul style="list-style-type: none"> ●焦げくさい臭いがする。 ●本体がいつもより異常に熱い。 ●その他異常や故障がある。 	<p>故障や事故の防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。</p>

※本機を廃棄される場合は、地方自治体の廃棄処理に関する条例または規程に従ってください。